

平成17年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について

平成18年6月6日
環境生活部環境政策課
環境生活部大気保全課
環境生活部水質保全課

平成17年度に千葉県、国土交通省、千葉市、船橋市及び18市が県内の一般大気環境、公共用水域、地下水及び土壌中におけるダイオキシン類濃度を測定した結果について、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第3項の規定により公表します。

測定結果の概要は次のとおりであり、一般大気環境のうち1地点及び公共用水域のうち2地点で環境基準を超過しましたが、地下水、土壌については、すべての地点で環境基準を下回っていました。

1 一般大気環境

85地点について調査した結果、1地点（船橋市南本町）で環境基準を超過した。

単位：pg-TEQ/m³

測定地点数	年間平均値最大	年間平均値最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
85	0.61	0.014	0.073	0.6

2 公共用水域

(1) 水質

80地点について調査した結果、2地点（与田浦橋[香取市]、下手賀沼中央[柏市]）で環境基準を超過した。

単位：pg-TEQ/l

測定地点数	年間平均値最大	年間平均値最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
80	2.0	0.044	0.35	1

(2) 底質

42地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準
42	41	0.068	6.6	150

3 地下水

38地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/l

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
38	0.089	0.016	0.042	1

4 土壌

58地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準
58	60	0.0013	4.7	1000

内容についての照会先

○ダイオキシン類対策全般について

環境政策課 電話 043-223-4138

○大気環境調査結果について… [1]

大気保全課 電話 043-223-3803

○水質・底質・地下水・土壌環境調査結果について… [2・3・4]

水質保全課 電話 043-223-3816

1 平成17年度ダイオキシン類に係る大気環境調査結果について

(1) 調査方法

ア. 調査地点及び調査実施主体

県内 85 地点において、県及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく政令市の千葉市及び船橋市並びに 17 市がそれぞれ実施した。(別図のとおり)

イ. 調査日

下記の日に 7 日間連続で試料採取した。

春季：平成 17 年 5 月 11 日～18 日

夏季：平成 17 年 7 月 13 日～20 日

秋季：平成 17 年 10 月 12 日～19 日

冬季：平成 18 年 1 月 18 日～25 日

ウ. 測定分析方法

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省環境管理局)」(平成 13 年 8 月)に基づき実施した。

(2) 調査結果

ダイオキシン類を測定した 85 地点における年間平均値は 0.014 ～ 0.61pg-TEQ/m³ の範囲にあり、船橋市の 1 地点で環境基準値(年間平均値 0.6pg-TEQ/m³)を超過した。

このため、基準値を超過した地点については、周辺の発生状況の調査を行ったが、原因の究明には至らなかった。

また、85 地点の平均値は 0.073pg-TEQ/m³ で、全地点の平均値の経年変化をみると、年々減少している。(下表のとおり)

(3) 今後の調査計画

平成 18 年度も引き続き「平成 18 年度千葉県ダイオキシン類常時監視計画」に基づき、県、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく政令市の千葉市及び船橋市並びに 17 市の 85 地点で、市と協力して調査を実施することとしている。

また、ダイオキシン類の排出抑制対策として今後とも法に基づき事業所指導を継続して実施する。

(参考) 過去 6 年間の年度別全地点平均値の経年変化

	pg-TEQ/m ³					
年度	12	13	14	15	16	17
全地点平均値	0.22	0.23	0.15	0.11	0.099	0.073

*ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視は、平成 12 年度から実施。

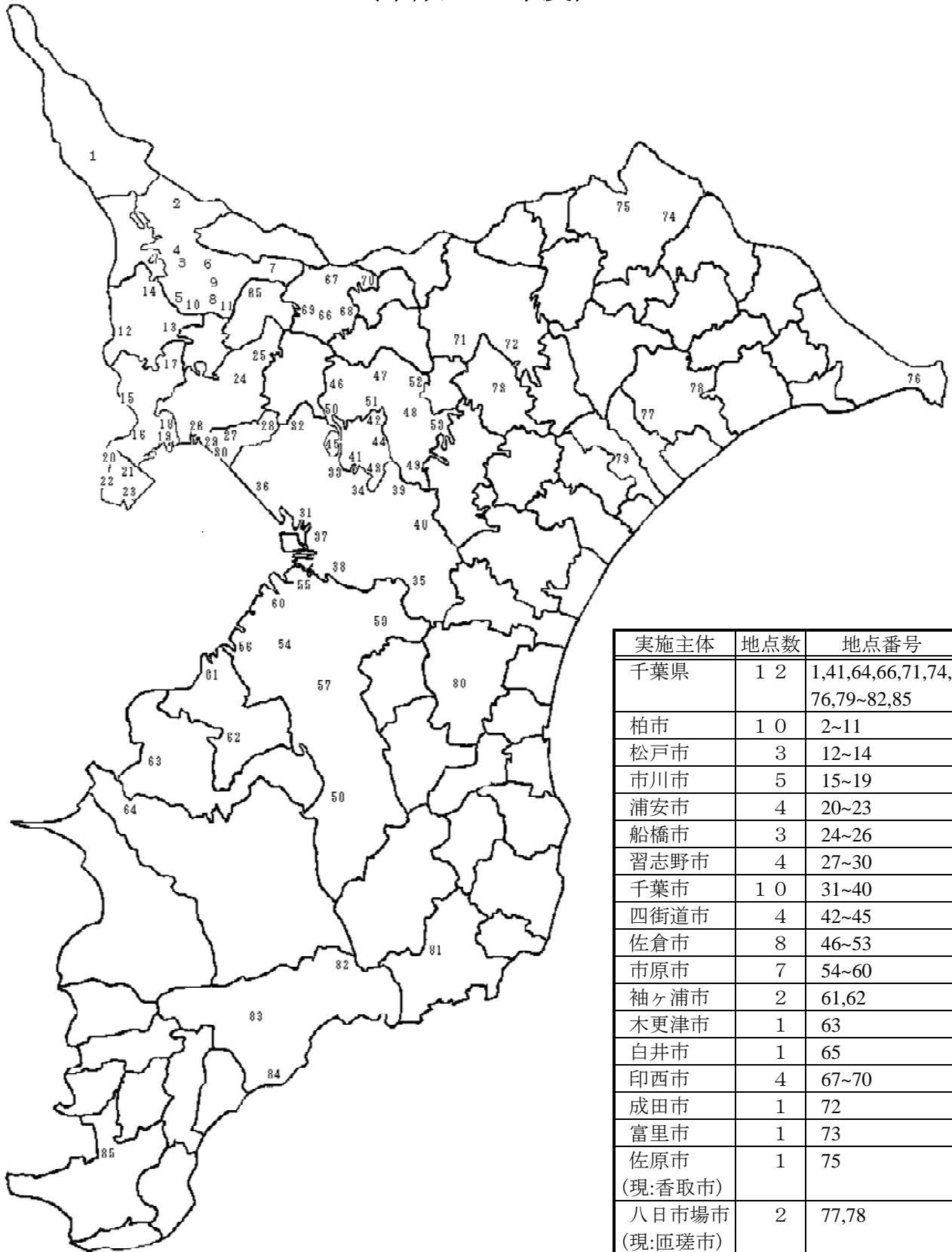
別表 平成17年度ダイオキシン類に係る大気環境調査結果

単位：pg-TEQ/m3

地点No.	実施主体	調査地点	年間 平均値	環境基準 適否	測定時期	地点No.	実施主体	調査地点	年間 平均値	環境基準 適否	測定時期
1	千葉県	野田市野田	0.052	適	夏冬2回	44		四街道市みそら	0.064	適	四季4回
2	柏市	柏市大室	0.067	適	四季4回	45		四街道市鹿放ヶ丘	0.11	適	四季4回
3		柏市永楽台	0.057	適	四季4回	46	佐倉市	佐倉市井野	0.059	適	夏冬2回
4		柏市旭町	0.067	適	四季4回	47		佐倉市江原新田	0.065	適	夏冬2回
5		柏市南増尾	0.071	適	四季4回	48		佐倉市城	0.067	適	夏冬2回
6		柏市大津ヶ丘(2丁目)	0.077	適	四季4回	49		佐倉市岩富町	0.078	適	夏冬2回
7		柏市手賀	0.069	適	四季4回	50		佐倉市上志津	0.067	適	夏冬2回
8		柏市高南台	0.086	適	四季4回	51		佐倉市吉見	0.066	適	夏冬2回
9		柏市大津ヶ丘(3丁目)	0.073	適	四季4回	52		佐倉市将門町	0.073	適	夏冬2回
10		柏市しいの木台	0.089	適	四季4回	53		佐倉市直弥	0.081	適	夏冬2回
11		柏市藤ヶ谷	0.11	適	四季4回	54	市原市	市原市廿五里	0.055	適	四季4回
12		松戸市	松戸市根本	0.093	適	四季4回	55		市原市八幡	0.083	適
13	松戸市五香西		0.080	適	四季4回	56		市原市姉崎	0.059	適	四季4回
14	松戸市二ツ木		0.069	適	四季4回	57		市原市松崎	0.064	適	四季4回
15	市川市	市川市新田	0.073	適	四季4回	58		市原市平野	0.034	適	四季4回
16		市川市富浜	0.065	適	四季4回	59		市原市潤井戸	0.048	適	四季4回
17		市川市大野町	0.073	適	四季4回	60		市原市五井	0.12	適	四季4回
18		市川市原木	0.079	適	四季4回	61	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市長浦	0.25	適	四季4回
19		市川市高谷	0.10	適	四季4回	62		袖ヶ浦市横田	0.085	適	四季4回
20	浦安市	浦安市当代島	0.060	適	四季4回	63	木更津市	木更津市請西	0.062	適	夏冬2回
21		浦安市猫実	0.073	適	四季4回	64	千葉県	君津市久保	0.047	適	夏冬2回
22		浦安市富士見	0.061	適	四季4回	65	白井市	白井市中	0.13	適	夏冬2回
23		浦安市今川	0.089	適	四季4回	66	千葉県	印西市高花	0.051	適	夏冬2回
24	船橋市	船橋市高根台	0.063	適	四季4回	67	印西市	印西市大森	0.065	適	夏冬2回
25		船橋市金堀町	0.074	適	四季4回	68		印西市原	0.070	適	夏冬2回
26		船橋市南本町	0.61	否	四季4回	69		印西市木刈	0.078	適	夏冬2回
27	習志野市	習志野市鷺沼台	0.041	適	四季4回	70		印西市小林	0.060	適	夏冬2回
28		習志野市東習志野	0.049	適	四季4回	71	千葉県	成田市加良部	0.042	適	夏冬2回
29		習志野市谷津	0.049	適	四季4回	72	成田市	成田市大清水	0.041	適	四季4回
30		習志野市秋津	0.053	適	四季4回	73	富里市	富里市七栄	0.065	適	夏冬2回
31	千葉市	千葉市中央区千葉港	0.058	適	四季4回	74	千葉県	佐原市大倉	0.051	適	夏冬2回
32		千葉市花見川区花見川	0.047	適	四季4回	75	佐原市	佐原市佐原	0.050	適	夏冬2回
33		千葉市稲毛区山王	0.070	適	四季4回	76	千葉県	銚子市唐子	0.097	適	夏冬2回
34		千葉市若葉区千城台北	0.066	適	四季4回	77	八日市場市	八日市場市飯倉	0.057	適	四季4回
35		千葉市緑区平川	0.046	適	四季4回	78		八日市場市椿	0.099	適	四季4回
36		千葉市美浜区真砂	0.055	適	四季4回	79	千葉県	横芝町横芝	0.055	適	夏冬2回
37		千葉市中央区今井	0.048	適	四季4回	80	千葉県	茂原市高師	0.031	適	夏冬2回
38		千葉市中央区南生実	0.044	適	四季4回	81	千葉県	勝浦市小羽戸	0.016	適	夏冬2回
39		千葉市若葉区谷当町	0.053	適	四季4回	82	千葉県	鴨川市清澄	0.014	適	夏冬2回
40		千葉市若葉区野呂	0.055	適	四季4回	83	鴨川市	鴨川市成川	0.030	適	夏冬2回
41	千葉県	四街道市鹿渡	0.052	適	夏冬2回	84		鴨川市東江見	0.029	適	夏冬2回
42	四街道市	四街道市千代田	0.060	適	四季4回	85	千葉県	館山市亀ヶ原	0.035	適	夏冬2回
43		四街道市和田	0.056	適	四季4回	平均			0.073		

(備考) 市町名は、調査開始日時点での名称である。

別図 ダイオキシン類大気環境調査地点
(平成17年度)



実施主体	地点数	地点番号
千葉県	1 2	1,41,64,66,71,74, 76,79~82,85
柏市	1 0	2~11
松戸市	3	12~14
市川市	5	15~19
浦安市	4	20~23
船橋市	3	24~26
習志野市	4	27~30
千葉市	1 0	31~40
四街道市	4	42~45
佐倉市	8	46~53
市原市	7	54~60
袖ヶ浦市	2	61,62
木更津市	1	63
白井市	1	65
印西市	4	67~70
成田市	1	72
富里市	1	73
佐原市 (現:香取市)	1	75
八日市場市 (現:匝瑳市)	2	77,78
鴨川市	2	83,84
県及び19市	8 5	

2 平成17年度ダイオキシン類に係る公共用水域水質・底質調査結果について

(1) 調査方法

ア. 調査地点及び調査実施主体

(ア) 公共用水域(水質)

県内80地点において県、国土交通省、千葉市及び船橋市並びに市川市、木更津市、松戸市、成田市、旭市、柏市、市原市及び袖ヶ浦市が実施した。

(47河川：62地点、4湖沼：5地点、3海域：13地点)

(イ) 公共用水域(底質)

県内42地点において県、国土交通省、千葉市及び船橋市並びに市川市、松戸市、柏市、市原市及び袖ヶ浦市が実施した。

(28河川：33地点、3湖沼：3地点、1海域：6地点)

イ. 調査期間と調査日数

水質：平成17年5月17日～平成18年2月6日(年1回～4回)

底質：平成17年5月17日～平成18年1月13日(年1回)

ウ. 測定・分析方法

水質：JIS K 0312 に準拠した。

底質：「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」(平成12年3月 環境庁水質保全局水質管理課) に準拠した。

(2) 調査結果

ア. 水質

80地点の濃度は0.044～2.0pg-TEQ/ℓの範囲にあり、与田浦川の与田浦橋(香取市)及び手賀沼の下手賀沼中央(柏市)の2地点で環境基準値(1pg-TEQ/ℓ)を超過した。

このため、基準値を超過した2地点について再調査を実施したところ、与田浦橋については1.0pg-TEQ/ℓであり、継続して環境基準値を超過していないことを確認した。一方、下手賀沼中央については4.3pg-TEQ/ℓ、1.1pg-TEQ/ℓといずれも環境基準値を超過していたが、その原因の究明には至らなかった。(別表2のとおり)

なお、80地点の平均値は0.35pg-TEQ/ℓであり(別表のとおり)、14年度0.33pg-TEQ/ℓ、15年度0.45pg-TEQ/ℓ、16年度0.25pg-TEQ/ℓと比べ大きな変化は見られなかった。

イ. 底質

42地点の濃度は0.068～41pg-TEQ/gの範囲にあり、全地点で環境基準値(150pg-TEQ/g)を下回った。42地点の平均値は6.6pg-TEQ/gであり(別表のとおり)、14年度15pg-TEQ/g、15年度9.8pg-TEQ/g、16年度4.3pg-TEQ/gと比べ大きな変化はなかった。

(3) 今後の調査計画

平成17年度に引き続き、「平成18年度ダイオキシン類測定計画」に基づき水質(64河川等90地点)及び底質(33河川等42地点)を国及び市と協力し、常時監視する。

なお、基準値を超過した2地点については、本年度も継続して監視するとともに、下手賀沼中央の超過原因について調査を行う予定である。

平成17年度ダイオキシン類に係る公共用水域水質・底質調査結果

別表 公共用水域の水質・底質に係る調査結果

(1)河川

単位：水質 (pg-TEQ/l)、底質 (pg-TEQ/g)

	水域名	測定地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
江戸川流入河川	坂川	弁天橋	0.27	6.0	年1回	松戸市	12
		赤塚樋門	0.47	-	年1回	県	13
	新坂川	さかね橋	0.27	1.3	年2回	県及び松戸市	14
	国分川	須和田橋	0.52	1.8	年2回	県及び市川市	17
	真間川	根本水門	0.32	3.5	年2回	県	19
		三戸前橋	0.66	-	年1回		20
利根川	利根川	水郷大橋 (佐原)	0.15	1.2	年1回	国土交通省	27
		河口堰	0.36	0.36	年1回		28
		銚子大橋	0.086	3.5	年1回		29
手賀沼流入河川	亀成川	亀成橋	0.38	-	年2回	県	30
	金山落	名内橋	0.85	-	年2回		31
	染井入落	染井新橋	0.56	11	年4回	柏市	32
	大津川	上沼橋	0.35	1.6	年4回		33
	大堀川	北柏橋	0.22	0.54	年4回		34
印旛沼流入河川	鹿島川	下泉橋	0.19	0.31	年4回	千葉市	501
	師戸川	師戸橋	0.67	29	年2回	県	40
	神崎川	神崎橋	0.51	-	年2回		41
	桑納川	桑納橋	0.34	-	年2回		42
	印旛放水路(上流)	八千代橋	0.26	-	年2回		43
利根川流入河川	長門川	長門橋	0.58	-	年2回	県	44
	根木名川	根木名橋	0.65	-	年1回		46
		新川水門	0.17	-	年2回	成田市	47
	大須賀川	関橋	0.43	-	年2回	県	49
		黄金橋	0.33	-	年2回		50
	与田浦川	与田浦橋	* 1.4	3.2	年1回		52
	黒部川	黒部川水門	0.81	-	年2回		56
	清水川	山川橋	0.63	-	年2回	県	57
		清水橋	0.56	-	年2回		58
	高田川	白石取水場	0.59	1.3	年2回	県	60

	水域名	測定地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
九十九里海域流入河川	新川	干潟大橋	0.26	-	年2回	県及び旭市	62
		駒込堰	0.24	-	年2回		63
	栗山川	粟嶋橋	0.26	-	年2回		65
		木戸橋	0.91	0.67	年2回		66
	高谷川	与平橋	0.26	0.76	年2回		67
	木戸川	道面橋	0.23	-	年2回		69
	作田川	龍宮大橋	0.52	-	年2回		70
	真亀川	真亀橋	0.60	0.67	年2回		72
	南白亀川	観音堂橋	0.97	-	年2回		73
	一宮川	昭和橋	0.39	-	年1回		74
中之橋		0.28	-	年2回	76		
南房総海域流入河川	夷隅川	江東橋	0.33	-	年2回	県	80
	二夕間川	坂本	0.20	6.2	年1回		81
	加茂川	加茂川橋	0.44	4.3	年1回		85
	瀬戸川	瀬戸川橋	0.31	0.64	年1回		89
東京湾内房流入河川	汐入川	要橋	0.20	-	年2回		93
	平久里川	平成橋	0.27	1.7	年2回		95
	湊川	湊橋	0.16	1.3	年1回		99
	染川	染川橋	0.094	-	年1回		101
		川向橋	0.16	-	年2回		102
東京湾内湾流入河川	小糸川	人見橋	0.40	-	年2回		105
	矢那川	富士見橋	0.65	0.31	年1回	107	
	小櫃川	小櫃橋	0.82	0.21	年2回	袖ヶ浦市	110
		椿橋	0.10	-	年2回	木更津市	111
	養老川	持田崎橋	0.064	0.39	年1回	市原市	113
		浅井橋	0.072	0.068	年1回		114
		養老大橋	0.24	0.097	年1回		115
	村田川	新村田橋	0.17	0.21	年1回	千葉市	118
		高本谷橋	0.21	0.59	年4回		502
	都川	都橋	0.13	2.3	年4回	千葉市	119
	葭川	日本橋	0.096	0.47	年4回		120
	印旛放水路(下流)	新花見川橋	0.24	6.6	年4回		121
海老川	八千代橋	0.11	9.2	年1回	船橋市	122	
	河川平均値		0.39	3.1			
	47 水域	62 地点	62 地点	33 地点			

(2)湖沼

単位：水質 (pg-TEQ/ℓ)、底質 (pg-TEQ/g)

	水域名	測定地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
沼 印 旛	印旛沼	上水道取水口下	0.47	-	年2回	県	2
		手賀沼	手賀沼中央	0.46	-		年2回
沼 手 賀	手賀沼	下手賀沼中央	* 2.0	6.8	年4回	柏市	8
		高滝ダム貯水池	加茂橋下流部	0.10	4.7	年1回	市原市
沼 高 滝	高滝ダム貯水池	加茂橋下流部	0.10	4.7	年1回	市原市	10
沼 亀 山	亀山ダム貯水池	堤体直上流部	0.076	15	年1回	県	13
湖沼平均値			0.62	8.8			
4 水域		5 地点	5 地点	3 地点			

(3)海域

単位：水質 (pg-TEQ/ℓ)、底質 (pg-TEQ/g)

	水域名	測定地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号	
東 京 湾 内 湾	千葉港(甲)	千葉1	0.051	18	年1回	千葉市	4	
		千葉2	0.050	41	年1回		5	
		千葉3	0.047	36	年1回		6	
	千葉港(乙)	東京湾E	-	34	-	県	E	
	東京湾(3)	船橋1	0.081	10	年1回	船橋市	12	
	東京湾(9)	千葉4	0.073	11	年1回	千葉市	42	
		船橋2	0.051	-	年1回		16	
	東京湾(11)	東京湾4	0.053	-	年1回	県	17	
	東京湾(12)	東京湾18	0.050	-	年1回		21	
	東 京 湾 内 房	東京湾(17)	東京湾19	0.058	-		年1回	24
東京湾21			0.049	-	年1回		26	
東京湾25			0.048	-	年1回		30	
東京湾28			0.044	-	年1回		32	
九 里 十	南房総	太平洋6	0.070	-	年1回		県	38
海域平均値			0.056	25				
8 水域		14 地点	13 地点	6 地点				

注1：*印は、環境基準値超過を示す。

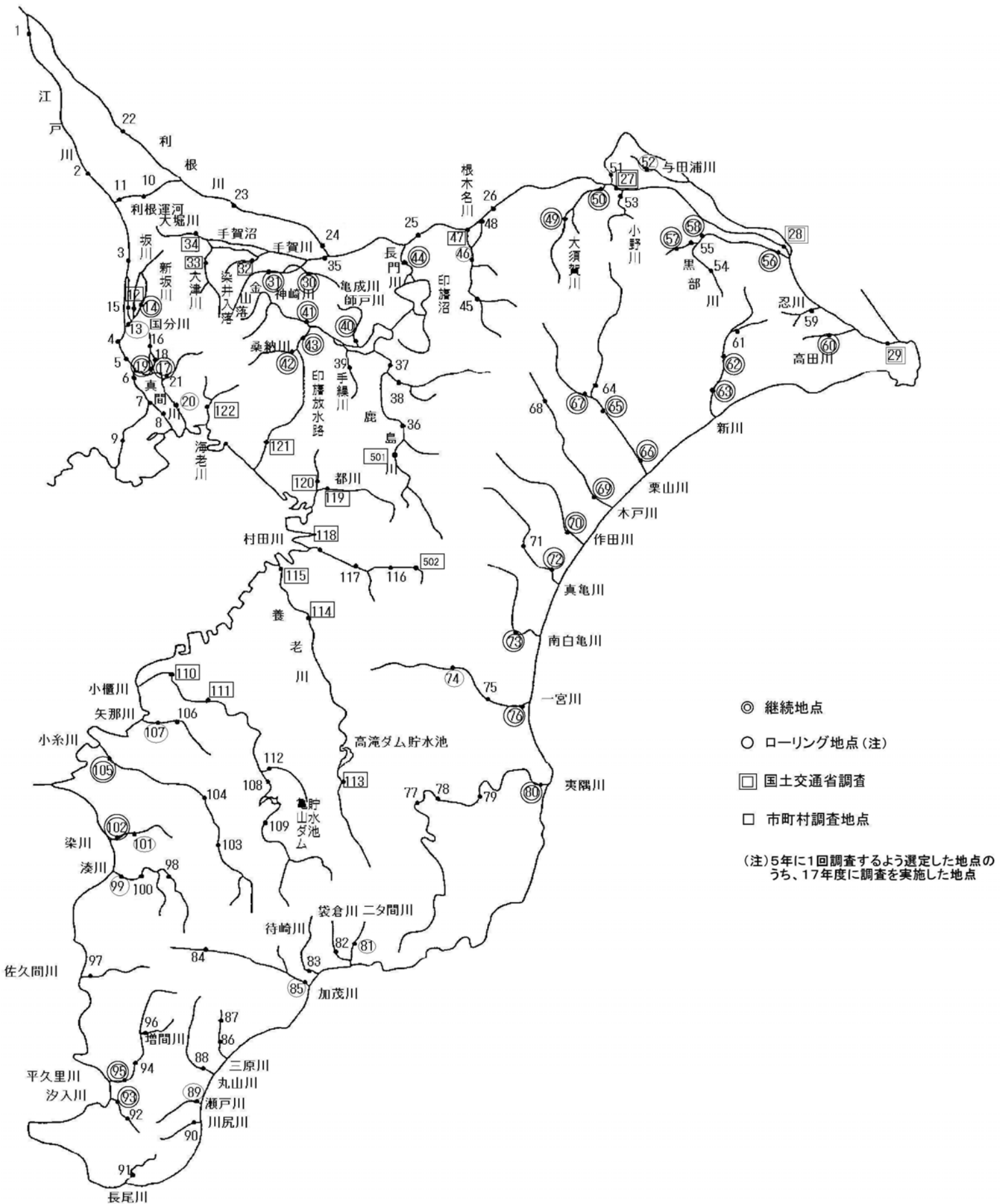
注2：番号は測定地点番号である。

別表2 公共用水域（湖沼）の水質の基準超過地点に係る再調査結果
 単位：水質（pg-TEQ/ℓ）

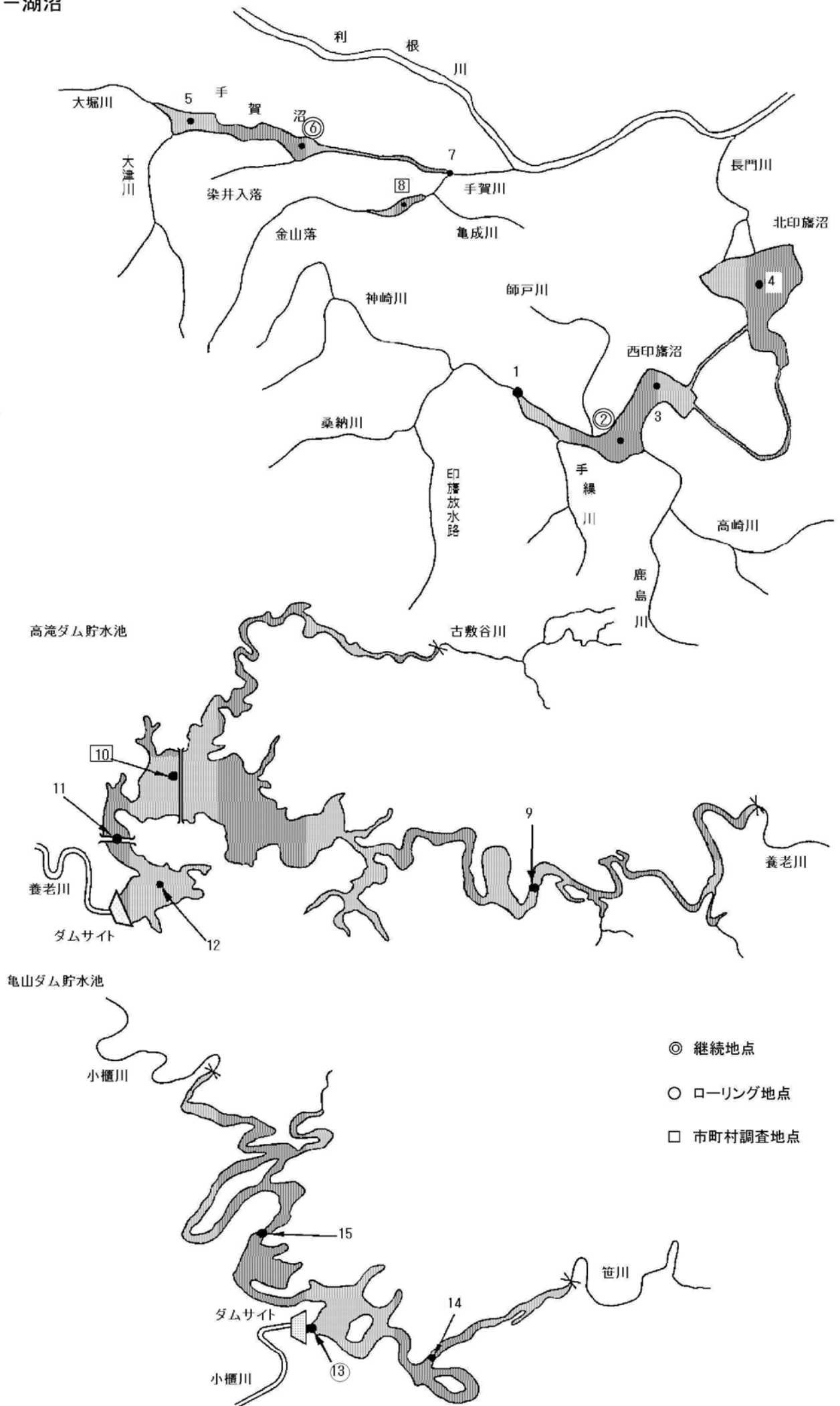
水域名	測定地点名	水質	調査年月日	調査主体	番号
与田浦	与田浦橋	1.0	H17. 9. 27	県	5 2
手賀沼	下手賀沼中央	4.3	H17. 9. 29		8
手賀沼	下手賀沼中央	1.1	H17. 11. 14		8

ダイオキシン類公共用水域水質測定地点図

別図一 1 - 河川

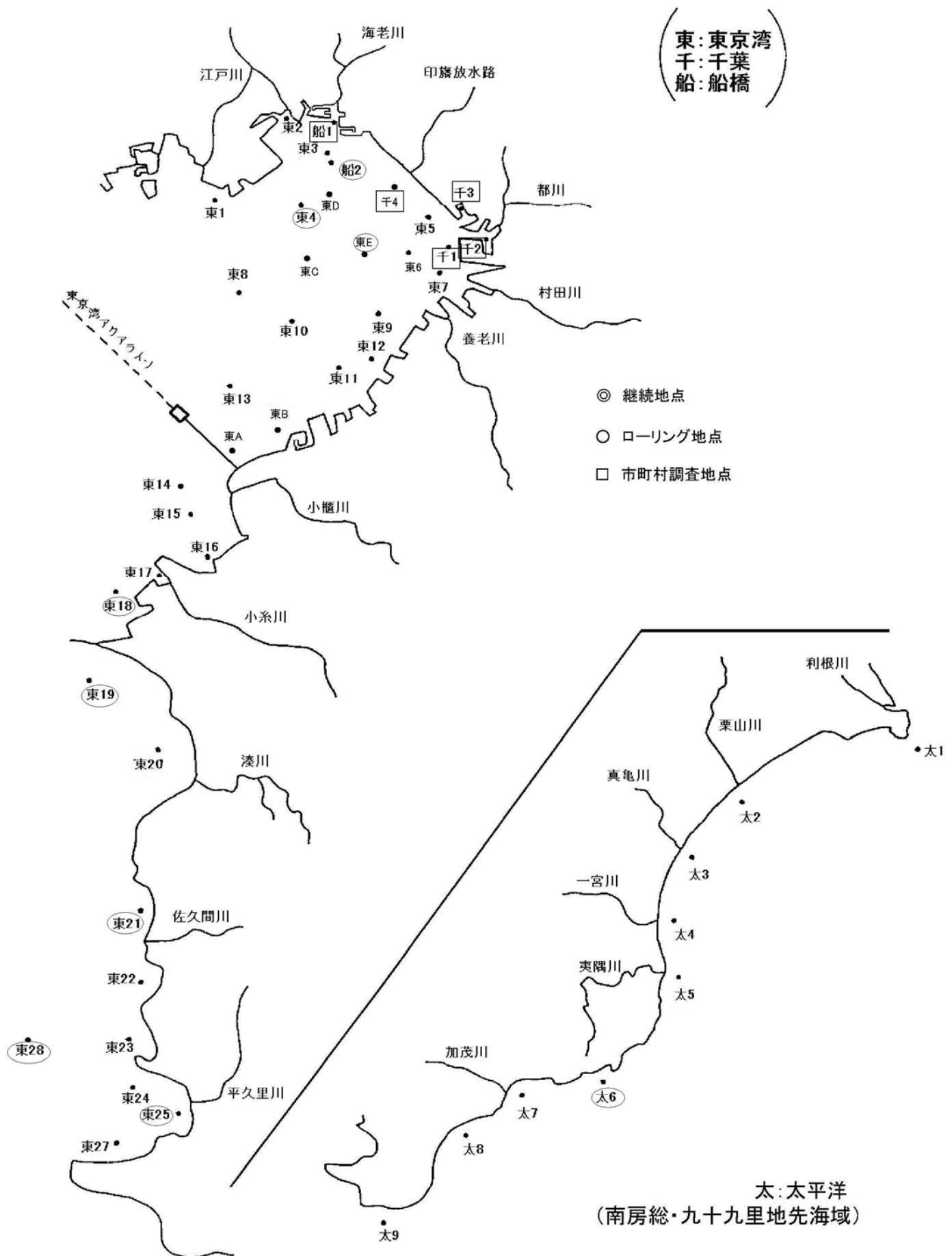


別図-2-湖沼



別図一 3 - 海域

(東京湾内湾・内房海域)



3 平成17年度ダイオキシン類に係る地下水質調査結果について

(1) 調査方法

ア. 調査地点及び調査実施主体

県内の16市1町2村の38地点において、県及び千葉市、船橋市、松戸市、成田市、柏市、印西市がそれぞれ実施したものをとりまとめた。

イ. 調査日

下記の期間内の各調査日(1日)に試料を採取した。

平成17年9月26日～平成18年2月1日

ウ. 測定・分析方法

JIS K 0312 (1999)

(2) 調査結果

38地点のダイオキシン類濃度は、0.016pg-TEQ/l～0.089pg-TEQ/lの範囲にあり、環境基準(1pg-TEQ/l)を下回っていた。

また、38地点のダイオキシン類濃度の平均値は、0.042pg-TEQ/lであった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなかった。

(3) 今後の調査計画

平成18年度については、市町村と協力し14市5町の37地点で調査を実施することとしている。

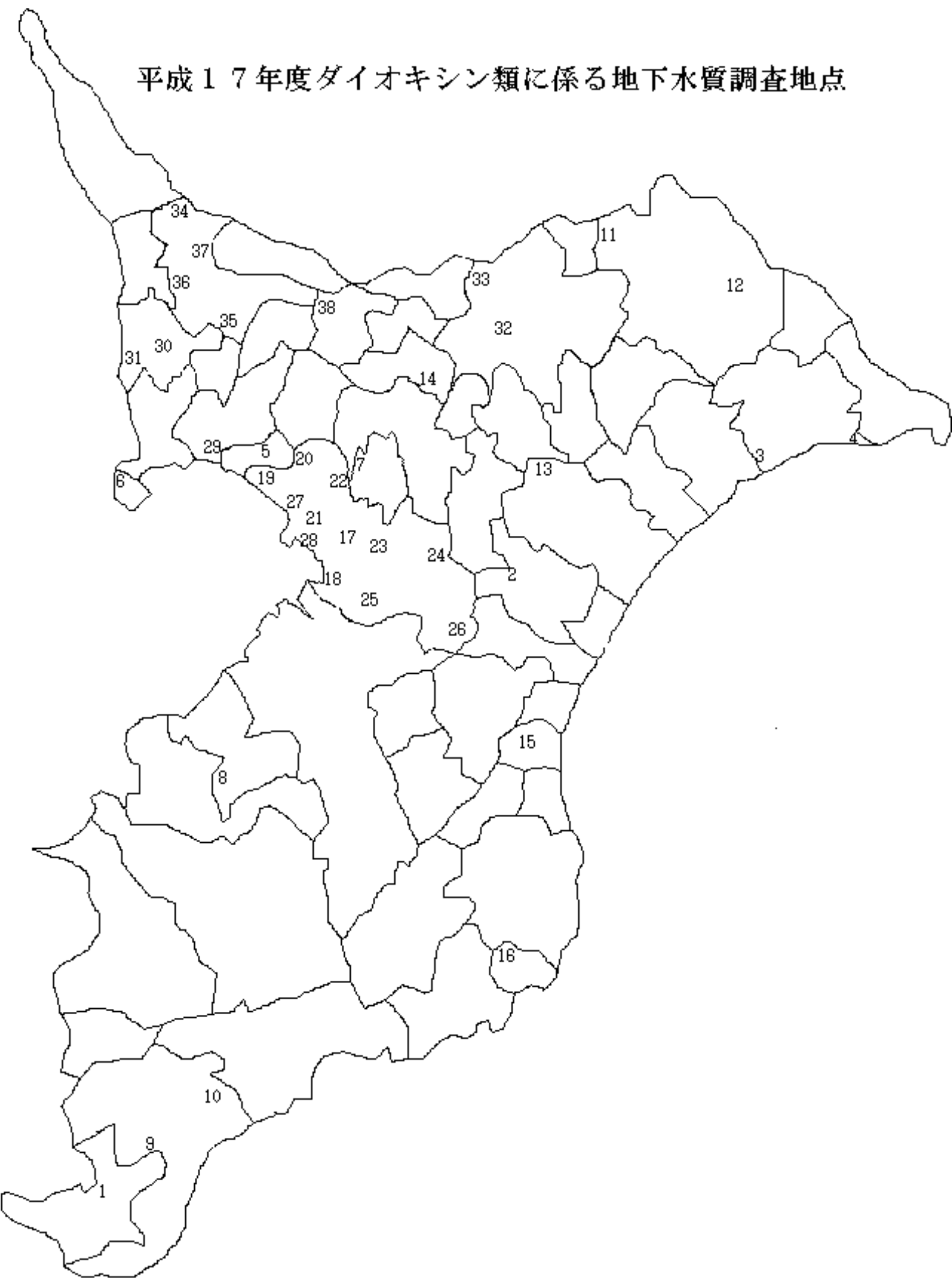
平成17年度ダイオキシン類に係る地下水質測定結果

調査日 平成17年9月12日～平成18年2月1日

単位: pg-TEQ/ℓ

実施主体	地点No.	測定地点	調査結果
千葉県	1	館山市北条	0.044
	2	東金市油井	0.044
	3	旭市大塚原	0.044
	4	旭市(旧飯岡町)上永井	0.044
	5	習志野市実籾町1丁目	0.044
	6	浦安市猫実3丁目	0.089
	7	四街道市大日	0.044
	8	袖ヶ浦市吉野田	0.044
	9	南房総市(旧三芳村)御庄	0.047
	10	南房総市(旧和田町)和田町上三原	0.050
	11	香取市(旧佐原市)堀之内	0.044
	12	香取市(旧小見川町)下小川	0.049
	13	山武市(旧山武町)板中新田	0.044
	14	印旛村山田	0.044
	15	長生村本郷	0.044
	16	御宿町上布施	0.046
千葉市	17	千葉市中央区都町	0.026
	18	千葉市中央区南町	0.021
	19	千葉市花見川区幕張本郷	0.022
	20	千葉市花見川区作新台	0.016
	21	千葉市稲毛区穴川	0.018
	22	千葉市稲毛区山王町	0.021
	23	千葉市若葉区坂月町	0.020
	24	千葉市若葉区富田町	0.021
	25	千葉市緑区誉田町	0.020
	26	千葉市緑区小食土町	0.029
	27	千葉市美浜区真砂	0.017
	28	千葉市美浜区新港	0.022
船橋市	29	船橋市東船橋2丁目	0.078
松戸市	30	松戸市常盤平	0.071
	31	松戸市胡録台	0.067
成田市	32	成田市和田	0.069
	33	成田市北羽鳥	0.069
柏市	34	柏市大青田	0.049
	35	柏市高柳	0.045
	36	柏市豊四季	0.033
	37	柏市松ヶ崎	0.031
印西市	38	印西市浦部	0.074
平均値			0.042

平成17年度ダイオキシン類に係る地下水質調査地点



4 平成17年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果について

(1) 調査方法

ア. 調査地点及び調査実施主体

県内の21市4町の58地点において、県及び千葉市、船橋市、市川市、成田市、旭市、習志野市、柏市、四街道市、印西市、白井市、匝瑳市がそれぞれ実施したものをとりまとめた。

イ. 調査日

下記の期間内の各調査日(1日)に試料を採取した。

平成17年7月20日～平成18年1月30日

ウ. 測定・分析方法

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」(環境庁水質保全局 平成12年1月)に準拠した。

(2) 調査結果

58地点のダイオキシン類濃度は、0.0013～60pg-TEQ/gの範囲にあり、環境基準(1000pg-TEQ/g)及び影響等の調査目安となる調査指標値(250pg-TEQ/g)を下回っていた。

また、58地点のダイオキシン類濃度の平均値は、4.7pg-TEQ/gであった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなかった。

(3) 今後の調査計画

平成18年度については、市町村と協力し17市6町3村の55地点で調査を実施することとしている。

平成17年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果

調査日 平成17年7月20日～平成18年1月30日

単位: pg-TEQ/g

実施主体	調査区分	地点No.	測定地点	調査結果
千葉県	一般環境	1	銚子市中央みどり公園	6.7
	一般環境	2	館山市中村公園	5.1
	一般環境	3	野田市立第一中学校	0.49
	一般環境	4	佐倉市志津コミュニティセンター	11
	一般環境	5	旭市立三川小学校	0.71
	一般環境	6	旧勝浦市立荒川小学校	4.5
	一般環境	7	袖ヶ浦市神納あけぼの公園	3.6
	一般環境	8	白井市立白井第一小学校	1.7
	一般環境	9	南房総市(旧三芳村)三芳保育所	2.1
	一般環境	10	南房総市(旧白浜町)野島崎公園	2.9
	一般環境	11	香取市(旧栗源町)栗山川ふれあいの里公園	0.072
	一般環境	12	山武市(旧蓮沼村)立蓮沼中学校	1.9
	一般環境	13	神崎町立米沢小学校	0.86
	一般環境	14	大網白里町立白里中学校	0.44
	一般環境	15	芝山町小池共同利用施設	5.0
	一般環境	16	一宮町望洋公園	3.1
	発生源周辺	17	銚子市スポーツコミュニティセンター	27
	発生源周辺	18	館山市城山公園	3.8
	発生源周辺	19	野田市熊野神社	16
	発生源周辺	20	佐倉市立佐倉東小学校	0.61
	発生源周辺	21	袖ヶ浦市立長浦小学校	60
	発生源周辺	22	袖ヶ浦市営今井野球場	31
	発生源周辺	23	旧白井市立白井第二小学校平塚分校	2.4
	発生源周辺	24	南房総市(旧白浜町)立長尾小学校	2.5
	発生源周辺	25	香取市(旧栗源町)宿原区民センター	1.2
	発生源周辺	26	芝山工業団地公園	0.30
千葉市	一般環境	27	千葉市中央区新宿	0.15
	一般環境	28	千葉市中央区白旗	1.8
	一般環境	29	千葉市花見川区幕張町	11
	一般環境	30	千葉市花見川区花見川	2.9
	一般環境	31	千葉市稲毛区千草台	0.13
	一般環境	32	千葉市稲毛区あやめ台	0.52
	一般環境	33	千葉市若葉区大宮台	0.080
	一般環境	34	千葉市若葉区更科町	0.62
	一般環境	35	千葉市緑区誉田町	3.5
	一般環境	36	千葉市緑区あすみが丘	0.56
	一般環境	37	千葉市美浜区真砂	0.27
	一般環境	38	千葉市美浜区高洲	0.037
船橋市	一般環境	39	船橋市立宮本小学校	6.4
市川市	一般環境	40	市川市立信篤小学校	0.15

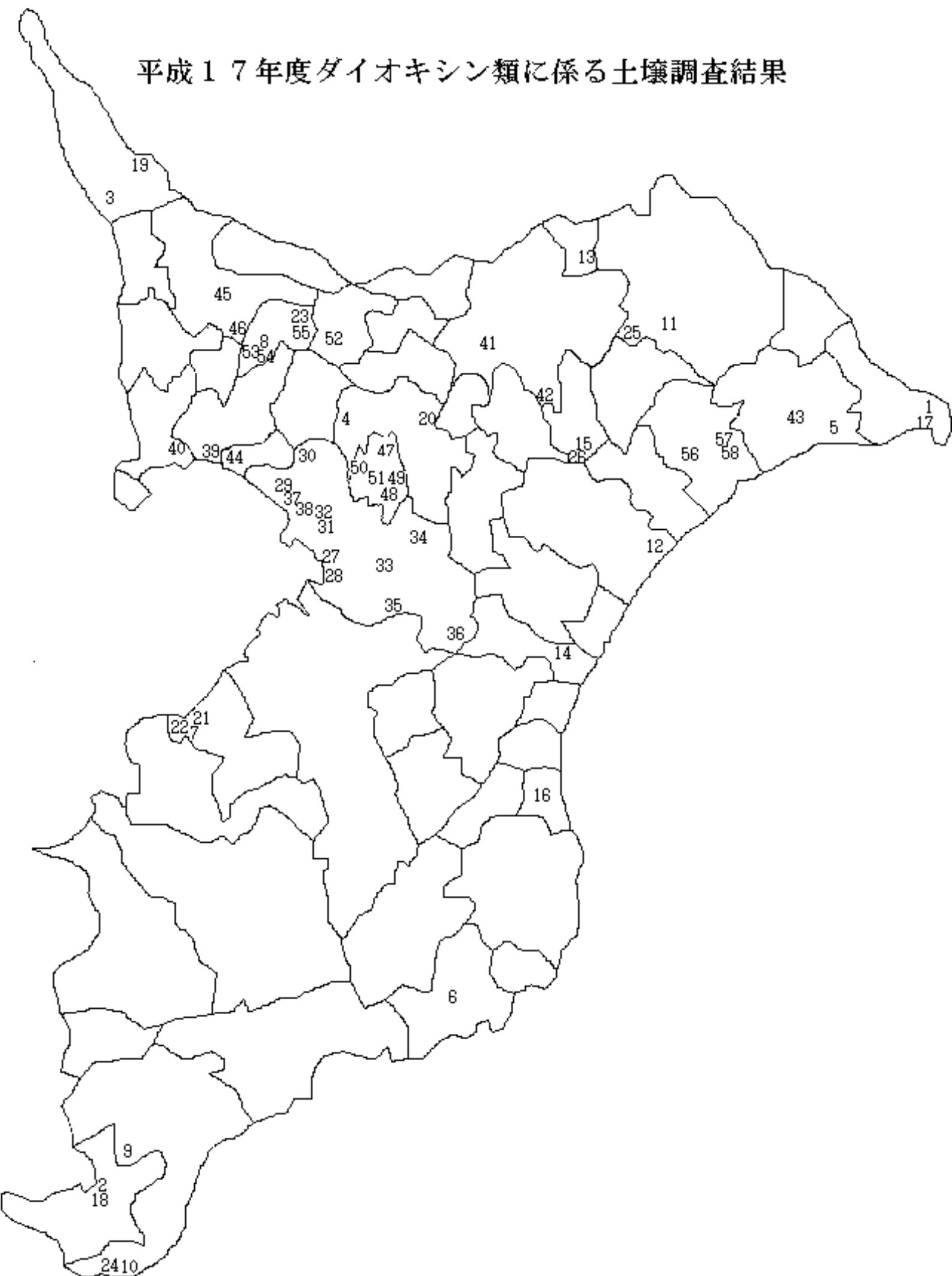
平成17年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果

調査日 平成17年7月20日～平成18年1月30日

単位: pg-TEQ/g

実施主体	調査区分	地点No.	測定地点	調査結果
成田市	一般環境	41	浅間公園	0.0013
	一般環境	42	西三里塚公園	0.0018
旭市	一般環境	43	中央児童公園	0.16
習志野市	一般環境	44	谷津干潟公園	3.8
柏市	一般環境	45	柏市立大津ヶ丘第一小学校	4.5
	一般環境	46	藤ヶ谷ふれあいセンター	2.5
四街道市	一般環境	47	四街道市立千代田保育所	9.1
	一般環境	48	総合公園	2.7
	一般環境	49	四街道市立みそら小学校	9.7
	一般環境	50	鹿放ヶ丘グラウンド	7.3
	一般環境	51	四街道市立中央小学校	2.0
印西市	一般環境	52	内野北児童公園	3.2
白井市	一般環境	53	白井市立清水口保育園	0.0081
	一般環境	54	白井市立南山保育園	0.97
	一般環境	55	白井市立桜台保育園	0.036
匝瑳市 (旧八日市場市)	一般環境	56	匝瑳市立八日市場第二小学校	1.7
	一般環境	57	市営グラウンド	1.1
	一般環境	58	平和東公園グラウンド	0.61
			平均値	4.7

平成17年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果



(参考)

- 1 ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）及びコプラナーポリ塩化ビフェニール（コプラナーPCB）と定義されている。
なお、コプラナーPCBは平成11年7月16日に公布されたダイオキシン類対策特別措置法において含められたものである。
- 2 ダイオキシン類の濃度は、各異性体によって毒性が異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシンの毒性に換算して合計した毒性等量（TEQ）によって表すこととされている。
- 3 pg（ピコグラム）とは1兆分の1グラムを表す単位。1pg-TEQ/m³とは大気1立方メートル中に換算して1兆分の1グラムのダイオキシン類が含まれていることであり、千葉県全土（51万ヘクタール）の上空おおむね200mまでの大気のなかに1グラムのダイオキシンが含まれている状態に相当する。